

組 織	会 長	古谷 敦浩 (八幡平中学校)		
	副会長	関 清志 (花輪第一中学校)		
	事務局	高杉 雅子 (大湯小学校)	理事	滝澤 政夫 (尾去沢小学校)
	研究部	関 清志 (花輪第一中学校)	理事	澁谷 千里 (十和田中学校)
	会 計	海沼 智恵子 (花輪小学校)	理事	木村 史子 (花輪小学校)

主な事業

令和元年度総会
(十和田中学校 / 4月19日)

県児童生徒美術展鹿角地区審査会
(文化の杜交流館コモッセ / 12月11日)

鹿角小・中・高合同美術展
(コモッセ / 1月24日～1月28日)
作品を見合う会 (同 / 1月28日)

研究会(事業)の記録

○ 県児童生徒美術展鹿角地区審査会 (12 / 11)

今年度は、小・中合わせて170点の作品が出品され、そのうち51点の作品が優良作品に選ばれ県審査に出品した。

今年から表彰形態が変わり、残念ながら鹿角から話題作は出なかったが、どの作品も児童生徒の思いのあふれた伸び伸びとした作品であった。今年立体作品が数点出品された。鹿角の伝統的な技法「茜染め」に取り組んだ中学生の作品は、審査会でも話題となった。

茜染め ▶



○ 鹿角小・中・高合同美術展 (1 / 24～1 / 28), 作品を見合う会 (1 / 28)

今年度で31回目となり、鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」に会場を移してから4回目の小・中・高合同美術展を開催した。小・中学生の作品170点のほかに、高校生の作品も展示され、多くの来場者に見ていただくことができた。また最終日には、県造形教育研究会会長の木村 伸先生をお迎えして、作品を見合う会を開き、鹿角の課題や今後の方向性などについて研修を行った。彫り進み版画について、ふるさと題材の大切さ、低学年への声かけから広がる気付き、自分との関わりから生まれるテーマ性、図工・美術の時間の削減などについて紹介し合い、話し合い、大変有意義な時間となった。



の関わりから生まれるテーマ性、図工・美術の時間の削減などについて紹介し合い、話し合い、大変有意義な時間となった。

高校生が制作したポスター▶

紹介された
ほりやすい
Kボード▶



